研究課題名	肝門部領域胆管癌の術前進展度診断における多角的画像評価の意
	義
研究期間	実施許可日(2025年9月1日) ~ 2026年3月31日
研究の対象	2008年1月から2024年12月の間に、広島大学病院で術前
	に CT および内視鏡的逆行性胆管造影に加えて管腔内超音波検査
	を施行された肝門部領域胆管癌の患者さん。
研究の目的・方法	意義•目的
	肝門部領域胆管癌に対する外科治療は、治癒切除を得るために多
	くの方で肝切除を含めた広範囲切除を必要とします。その結果、と
	 きに高いリスクを伴う手術となることがあります。現在は、根治性
	と安全性のバランスを個別的に担保する時代になり、適切な術式決
	定をするためにも術前診断もより正確な進展範囲診断が求められ
	ています。
	本研究の目的は、肝門部領域胆管癌の術前水平方向進展度診断能
	を明らかにし、肝門部領域胆管癌の最適な術前診断検査法を構築す
	ることです。
研究に用いる試料・	
情報の種類	テから使用する内容は性別、年齢、血液検査所見、画像検査所見
113 114 - 2 1229	(CT、MRI)、管腔内超音波検査を含めた内視鏡的逆行性胆管造影
	所見、術後病理検査所見などです。(個人を特定可能な情報は解析
	に用いません)
	情報の管理責任者:
 利用または提供を	2025年9月1日(実施許可日以降)
開始する予定日	
個人情報の保護	得られた情報から氏名、生年月日などの個人を識別可能な記述を
	を削除し、個人情報とは無関係の番号を付け取り扱います。
	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱い
	ます。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られた
	りするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心く
	ださい。なお、本研究で得られたデータは将来計画・実施される研
	究にとって貴重なデータとなる可能性があり、期限を設けず保管さ
	せていただきます。将来別の研究で使用する場合は、改めて倫理審
	直受けた上で使用します。
 外部への試料・情報	ありません。
の提供	
研究組織	本学の研究責任者
	広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎

研究への利用を辞退する場合の連絡 先・お問合せ先 研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。

なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学

担当者:大田垣 真、石井 康隆

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel:082-257-5193